

113

132-L

昭和 15 年 土木學會

鐵筋コンクリート標準示方書

昭和 15 年 3 月

土木學會

昭和 15 年土木學會

鐵筋コンクリート標準示方書

55. 4. 3

登録	昭和 15 年 4 月
番号	第 21472
社団 法人	土木學會
附屬	土木圖書館

引取函書

昭和 15 年 3 月

土木學會

序

昭和 6 年土木學會鐵筋コンクリート標準示方書が制定されて以來, 鐵筋コンクリートの設計及び施工の發達は其の内容に改正を要する點の多きを認め, 昭和11年一部の改訂を行つたが引續き内容一般の改訂に關し調査研究を進め, 昭和14年9月改訂案を發表し之に就き會員の意見を徵し, 慎重審議の結果今回茲に本改訂を見るに至つたのである。

昭和 15 年 3 月

土木學會コンクリート調査委員會

委員長 工學博士 吉田徳次郎

土木學會コンクリート調査委員會委員 (五十音順)

(昭和 10 年 6 月設置)

委員長 吉田徳次郎

委 員

安 藝 皎 一	一 木 保 夫	板 倉 誠	誠 吉 博 康 郎
内 山 實 郎	内 村 三 郎	小 宅 習	習 小 大 川 口
大 石 義 郎	○ 大 河 戸 宗 治	大 野 裕	裕 三 藤 忠 佐
河 西 定 雄	金 子 祢 治	川 嶋 善 田	矩 三 貞 野 德 沼
菊 池 明 政	黒 澤 喜 代 治	佐 嶋 善 田	三 光 矩 三 貞 野 德 沼
佐 藤 寛 政	坂 元 左 馬 太	沼 橋 黒 村	義 政 大 孫 清
鈴 木 清 一	末 松 荣 年	浦 松 日	治 雄 ○ 印 前 委 員 長
土 井 正 中	永 田 年 誠	○ 印 前 委 員 長	
(故)野 坂 孝 忠	(故)野 口 真 透		
平 山 復 二 郎	○ 藤 井 真 透		
三 浦 義 男	宮 本 武 之 輔		
目 黒 雄 平	吉 田 朝 次 郎		

土木學會

鐵筋コンクリート標準示方書

目 次

第 1 章 總 則	(1)
第 1 條 適用の範圍.....	(1)
第 2 章 定 義	(1)
第 2 條 術 語.....	(1)
第 3 條 記 號.....	(3)
第 3 章 コンクリートの品質	(6)
第 4 條 強 度.....	(6)
第 5 條 圧縮強度試験.....	(6)
第 4 章 材 料	(6)
第 6 條 總 則.....	(6)
第 1 節 セメント	(6)
第 7 條 ポルトランドセメント及び高爐セメント	(6)
第 2 節 細 骨 材	(7)
第 8 條 總 則.....	(7)
第 9 條 粒 度.....	(7)
第 10 條 細骨材に於ける有機不純物.....	(7)
第 11 條 特別の場合.....	(8)
第 3 節 粗 骨 材	(8)
第 12 條 總 則.....	(8)
第 13 條 粒 度.....	(8)
第 14 條 特別の場合.....	(9)
第 4 節 水	(9)
第 15 條 總 則.....	(9)

第 16 條	海 水.....	(9)
第 5 節 鐵 筋	(10)
第 17 條 材 質.....	(10)
第 18 條 寸法及び斷面積.....	(10)
第 6 節 材料の貯藏	(10)
第 19 條 セメントの貯藏.....	(10)
第 20 條 骨材の貯藏.....	(10)
第 21 條 鐵筋の貯藏.....	(10)
第 5 章 配合及び水量	(11)
第 22 條 總 則.....	(11)
第 23 條 配合及び小量の表はし方.....	(11)
第 24 條 セメントの最小使用量.....	(11)
第 25 條 セメント水重量比又は水セメント重量比.....	(12)
第 26 條 ウオーカビリチー	(12)
第 6 章 混 合	(13)
第 27 條 材料の計量.....	(13)
第 28 條 機械練り	(13)
第 29 條 手 練 り	(13)
第 30 條 練 返 し	(14)
第 7 章 コンクリート打ち及び養生	(14)
第 1 節 コンクリート打ち	(14)
第 31 條 準 備.....	(14)
第 32 條 取 扱 ひ	(14)
第 33 條 橋 卸 し	(15)
第 34 條 締 固 め	(16)
第 35 條 打 繼 ぎ	(16)
第 36 條 塞中コンクリートの施工.....	(17)
第 2 節 養 生	(17)

第 37 條	養 生.....	(17)
第 3 節 繰 目	(18)
第 38 條	總 則.....	(18)
第 39 條	打 繰 目.....	(18)
第 40 條	柱に於ける打繰目.....	(18)
第 41 條	床組に於ける打繰目.....	(19)
第 42 條	アーチに於ける打繰目.....	(19)
第 43 條	伸 缩 繰 目.....	(19)
第 44 條	滑 面 繰 目.....	(19)
第 45 條	水 密 繰 目.....	(19)
第 8 章 鐵 筋 工	(20)
第 46 條	鐵筋の加工.....	(20)
第 47 條	鐵筋の組立.....	(20)
第 48 條	鐵筋の継手.....	(21)
第 9 章 型 枠	(21)
第 49 條	總 則.....	(21)
第 50 條	堰 板.....	(22)
第 51 條	型枠及び支保工.....	(22)
第 52 條	組 立.....	(22)
第 53 條	面 取 り.....	(22)
第 54 條	塗 布.....	(23)
第 55 條	--時 的 開 口.....	(23)
第 56 條	型枠の取外し	(23)
第 10 章 被 り	(24)
第 57 條	普通の場合.....	(24)
第 58 條	耐火構造の場合.....	(24)
第 59 條	海中に於ける場合.....	(25)
第 11 章 水密を要する鐵筋コンクリート	(25)

第 60 條	總 則.....	(25)
第 61 條	防水剤の混和	(25)
第 12 章 海水の作用を受くる鐵筋コンクリート		(25)
第 62 條	總 則.....	(25)
第 63 條	配 合.....	(25)
第 64 條	混 和 材.....	(26)
第 65 條	コンクリート打ち.....	(26)
第 66 條	鐵筋及びコンクリートの保護.....	(26)
第 13 章 表面仕上げ		(26)
第 67 條	表面仕上げ.....	(26)
第 14 章 試 驗		(27)
第 68 條	現場試験.....	(27)
第 69 條	載荷試験.....	(27)
第 15 章 荷重及び溫度變化		(28)
第 70 條	靜荷重及び動荷重.....	(28)
第 71 條	溫度變化及び硬化收縮.....	(28)
第 16 章 計算上の假定		(28)
第 72 條	應力の計算.....	(28)
第 73 條	ヤング係數.....	(29)
第 74 條	集中荷重の分布.....	(29)
第 17 章 許容應力度		(30)
第 75 條	コンクリートの許容應力度.....	(30)
第 76 條	鐵筋の許容應力度.....	(32)
第 77 條	地震力を考慮したる場合の許容應力度.....	(32)
第 18 章 設計細目		(32)
第 78 條	設計細目.....	(32)
第 19 章 版 及び梁		(33)
第 1 節	設計細目	(33)

第 79 條	版(33)
第 80 條	矩形梁及び丁形梁(34)
第 81 條	独立せる梁(35)
第 2 節	外力に因る曲げモーメント及び剪断力(35)
第 82 條	版のスパン(35)
第 83 條	梁のスパン(36)
第 84 條	1 方向に主鉄筋を有する連續版の曲げモーメント及び剪断力(36)
第 85 條	2 方向に主鉄筋を有する版の曲げモーメント及び剪断力(37)
第 86 條	連續梁の曲げモーメント及び剪断力(38)
第 87 條	版及び梁の反力(39)
第 3 節	應力(39)
第 88 條	丁形梁の突緣(39)
第 89 條	ハ ン チ(41)
第 90 條	剪断應力度(41)
第 91 條	附着應力度(42)
第 20 章	2 方向に主鉄筋を有する無梁版(42)
第 92 條	設計細目(42)
第 93 條	計算方法(43)
第 21 章	柱(45)
第 1 節	設計細目(45)
第 94 條	帶 鉄 筋 柱(45)
第 95 條	螺旋鐵筋柱(45)
第 2 節	外力(46)
第 96 條	外力(46)
第 3 節	應力(46)
第 97 條	帶 鉄 筋 柱(46)

第 98 條	螺旋鐵筋柱.....	(47)
第 99 條	長柱.....	(47)
第 100 條	偏心軸方向荷重を受くる柱.....	(47)

附 錄 試 験 方 法

第 1 章 骨材筛分け試験標準方法	(49)
第 1 條 試 料.....	(49)	
第 2 條 筛.....	(49)	
第 3 條 試験方法.....	(49)	
第 4 條 報 告.....	(49)	
第 2 章 骨材洗試験標準方法	(50)
第 5 條 器 具.....	(50)	
第 6 條 試 料.....	(50)	
第 7 條 試験方法.....	(50)	
第 8 條 結果の計算.....	(51)	
第 9 條 檢 算.....	(51)	
第 3 章 砂の有機不純物試験標準方法	(51)
第 10 條 總 則.....	(51)	
第 11 條 試 料.....	(51)	
第 12 條 試験方法.....	(51)	
第 4 章 骨材の単位容積重量試験標準方法	(52)
第 13 條 器 具.....	(52)	
第 14 條 量器の検照.....	(53)	
第 15 條 試 料.....	(53)	
第 16 條 試験方法.....	(53)	
第 17 條 精 度.....	(53)	
第 5 章 コンクリート流動性試験標準方法	(53)
第 18 條 總 則.....	(53)	

第 19 條	試 料.....	(53)
第 20 條	試験及び結果.....	(54)
第 6 章	コンクリート壓縮強度試験標準方法	(55)
第 21 條	總 則.....	(55)
第 22 條	供試體の形狀、寸法及び數	(55)
第 23 條	材料の準備.....	(56)
第 24 條	材料試験及び其の試料採取.....	(56)
第 25 條	セメントの試験.....	(56)
第 26 條	細骨材の試験.....	(57)
第 27 條	粗骨材の試験.....	(57)
第 28 條	型.....	(57)
第 29 條	材料の計量.....	(57)
第 30 條	コンクリート.....	(58)
第 31 條	流 動 性.....	(58)
第 32 條	填 充.....	(58)
第 33 條	供試體の上面仕上げ.....	(59)
第 34 條	型の取外し及び養生.....	(59)
第 35 條	供試體の運搬	(60)
第 36 條	供試體の材齡.....	(60)
第 37 條	試験の準備.....	(60)
第 38 條	試験荷重を加へる方法.....	(60)
第 39 條	試験の結果.....	(60)
第 40 條	報 告.....	(61)